

戦後 70 年
平和企画

立命館大学国際平和ミュージアム
2015 年度 春季特別展
山本宗補写真展

戦後はまだ…

刻まれた加害と被害の記憶

関連
企画

5 / 3
日

[講演会&ギャラリートーク]

戦後世代の私が、なぜ戦争体験者の証言を伝えたいのか？

講師：山本宗補（フォトジャーナリスト）

< 講演会 > 13:30 - 14:40

会場：国際平和ミュージアム 2F 会議室

< ギャラリートーク > 15:00 - 15:30

会場：国際平和ミュージアム 1F 中野記念ホール



聴講無料

※ギャラリートークは当日参観料が必要です。

山本宗補 やまもとむねすけ

1953 年長野県生まれ。アジアを主なフィールドとするフリーランスのフォトジャーナリスト。日本ビジュアル・ジャーナリスト協会 (JVJA) 会員。1985 年からフィリピン、1988 年からビルマ (ミャンマー) 軍事政権下の少数民族問題や民主化闘争を取材。日本国内では「古い」と「戦争の記憶」をテーマに取材。「3・11」の翌日から福島県に入り、広河隆一氏らフリーランスの仲間 6 人で原発周辺での放射能汚染の実態を伝え、原発事故と大津波被災地に通い続ける。著書に『戦後はまだ…刻まれた加害と被害の記憶』(彩流社、2013 年)、『鎮魂と抗い—3・11 後の人びと』(彩流社、2012 年)、『3・11 メルトダウン—大津波と核汚染の現場から』(JVJA 編、共著、凱風社、2011 年) など多数。

[講演会]

加害と被害の重層構造

—日本人の戦争体験をとらえ直す

講師：林博史（関東学院大学教授 現代史）

< 講演会 > 13:30 - 15:30

会場：国際平和ミュージアム 2F 会議室

聴講無料

林博史 はやしひろふみ

1955 年神戸市生まれ。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了 (社会学博士)。現在、関東学院大学経済学部教授。専攻は現代史、軍隊・戦争論。日本の戦争責任資料センター幹事・研究事務局長、機関誌『季刊戦争責任研究』編集担当。南京事件調査研究会・沖縄戦を考える会 (東京)・合同研究会事務局。主著：『地域のなかの軍隊6 大陸・南方膨張の拠点 九州・沖縄』(吉川弘文館、2015 年)『暴力と差別としての米軍基地』(かもがわ出版、2014 年)『米軍基地の歴史—世界ネットワークの形成と展開』(吉川弘文館、2012 年)『戦後平和主義を問い直す—戦犯裁判、憲法九条、東アジア関係をめぐって』(かもがわ出版、2008 年)『沖縄戦と民衆』(大月書店、2001 年)



5 / 30

土